

< 学校教育目標 >  
自ら学び  
心豊かで  
たくましい 稲田っ子

# いなだっ子

笠間市立稲田小学校

学校だより NO.1  
令和7年4月10日(木)

## 「令和7年度がスタートしました」

【4月7日(月)心躍る新任式・始業式】

校庭の木々も一斉に芽吹き初め満開の桜が咲き誇る中、令和7年度がスタートしました。子供たちは、「新しく来た先生はどんな先生かな」「担任の先生は誰かな」と胸を弾ませて登校する様子が見られました。今回の人事異動で多くの先生が転退職し、寂しいお別れがありましたが、新任式では新たな出会いがありました。それぞれに進級する2～6年生110名の希望に満ちた表情が印象的でした。

【4月8日(火)かわいい新1年制を迎えて・入学式】

かわいい新1年生20名を迎え、稲田っ子130名での新しい年度がスタートしました。一生に一度しかない小学校の入学式、新入生の子供たちはしっかりと入場し、真剣に話を聞き、元気よく歌を歌いました。子供たちの元気で活気のある姿を見て、我々もさらに頑張る意欲が湧いてきました。



令和7年度は、新しい教職員9名を迎え、21名で稲田っ子の指導にあたっていくことになりました。学校教育目標『自ら学び 心豊かで たくましい稲田っ子』の実現を目指していきます。現在、世界の総人口は80億人を超えました。その中で人が一生に出会う人の数の内訳は次のようだとされています。

人生で何らかの接点を持つ人	30000人
学校や仕事を通じて近い関係になる人	3000人
親しい会話ができる人	300人
友達と呼べる人	30人
親友と呼べる人	3人



という、いわゆる3にまつわる数字でまとめられていますが、接点を持つ人が80億人の中の3万人と考えると、全体の0.000375%という計算になります。こう考えると、稲田小での出会いは貴重な出会いだと考えます。この出会いは「たくさんの偶然」と「不思議な時間の巡り合わせ」によるものです。だからこそ大切にしたいと感じます。

人の一生は、人との出会いを通して『心を養い、考えを深め、生き方を探る』と言われる。子供たちは日々の学習や生活、大人(保護者や教師)や友だちとの関わりを通して、多くのことを学び成長していきます。そして「人と関わる喜び」を感じながら、卒業する際に『稲田小学校で学ぶことができてよかった』と思える学校づくりを進めていきたいと考えています。保護者や地域の皆様方には、引き続き教育活動へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。